

# ごあいさつ

SK松本ジュニア合唱団

団長 芦田勝弘

本日はSK松本ジュニア合唱団のクリスマスコンサートに御来場頂きまして誠にありがとうございます。  
ございます。

本合唱団は1993年のサイトウキネンフェスティバル(SKF)で上演されたオペラ「火刑台のジャンヌダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、今年で7年を数えるまでになりました。団員も徐々に増え小学校1年生から高校3年生までの70名余りの、歌うことの好きな仲間が集まり練習を重ねています。

この間「ウィーン少年合唱団」や「デュークエイセス」など内外の一流アーティストとの共演や各種演奏会への出演、福祉施設への訪問演奏などを通して貴重な体験を重ねることができました。また、今年には日本歌曲の第一人者「関定子」や世界最高峰と言われるスウェーデンの「アドルフ・フレデリックス少女合唱団」との共演も果たすことができました。

音楽は地域を越え、年齢を越えて、人々に感動を与えてくれます。地域や年齢を越えて子供達が集まり、心を合わせて素晴らしい音楽を作り上げる感動を通して、豊かな感性を育み、将来の夢に向かって伸び伸びと育てて欲しいと心から願っています。

不透明な時代ではありますが、多感な子供達が歌うことを通しての仲間づくりや、音楽の素晴らしさを実感できる活動を続けていられるのも、長野県松本文化会館や松本市関係の皆様方と、子供達の思いを正面から受け止め、指導して頂いている先生方のおかげと関係者一同心から感謝申し上げます。

それぞれの関係の方々を支えられてきた7年間でした。これからもSK松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げましてご挨拶と致します。

本日のコンサートを十分にお楽しみ下さい。